オープンカウンタ方式参加心得書

2025年6月18日改定

公益財団法人産業雇用安定センター

1 目的

公益財団法人産業雇用安定センター（以下「センター」という。）が行うオープンカウンタ方式の取扱いについては、この心得書に定めるところによるものとする。

2 オープンカウンタ方式の公告

オープンカウンタ方式を実施しようとするときは、件名ごとにオープンカウンタ番号を付して、次に掲げる事項をホームページ等に公告するものとする。

- (1) オープンカウンタ番号及び件名
- (2) 仕様書等の交付
- (3) オープンカウンタ方式の開始時期
- (4) 競争参加資格
- (5) 仕様説明会の有無及び実施年月日
- (6) 見積書及びその他の書類の提出
- (7) 見積結果の開披日時及び場所
- (8) 契約書等提出の有無
- (9) 問い合わせ先

3 見積書の様式等

参加者が使用する見積書の様式は、センターが指定する様式（別紙）に限ることとする。

4 見積書等の提出

見積書は、公告に記載されている期限内に、指定する場所及び方法により、提出しなければならない。

5 見積書の無効

次のいずれかに該当する見積書は無効とすること。

- (1) 競争に参加する資格を有しない者のした見積
- (2) 定められた様式以外の見積書による見積

- (3) 記名押印を欠く見積書による見積
- (4) 金額を訂正した見積書による見積
- (5) 誤字、脱字等により意思表示が明確でない見積書による見積
- (6) 公正な価格を害し、若しくは不正な利益を得るために連合をしたと認められる者による見積
- (7) 金額、物件名の記載がない見積
- (8) 本心得書を遵守しない者のした見積
- (9) 仕様説明会を開催した場合において、同説明会に出席しない者及び特別の理由が無く遅刻した者のした見積
- (10) 定められた期限内及び方法により見積書を提出しない者のした見積

6 契約予定者の決定

見積の結果、見積参加者のした見積のうち、見積価格が予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な見積をした者を契約予定者とする。ただし、契約予定者となるべき者の見積金額によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって見積をした他の者のうち最低の価格をもって見積をした者を契約予定者とすることがある。

なお、契約予定額は、契約予定者が提出した見積書に記載された金額に当該金額の消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）とする。

7 同価見積の処理

見積徴取の結果、予定価格の制限の範囲内の価格であって、かつ最低の価格の見積をした者が2人以上あるときは、契約担当役が指定する日時場所において当該参加者にくじを引かせ、契約予定者を決定する。ただし、当該見積参加者のうち、くじを引かない者があるときは、これに代わって契約事務に関係のないセンター職員にくじを引かせるものとする。くじには、こよりを使用することとする。

8 再度の見積

すべての見積金額が、予定価格の制限の範囲内ではないときは、最低の価格をもって見積書を提出した見積参加者から順次見積を依頼し、見積金額が予定価格の制限の範囲内であったときに契約予定者として決定する。

9 契約予定者への通知

契約予定者に対し、契約予定者として決定した旨を通知する。

10 見積結果の公表

見積結果は、契約締結後、公告に記載されている場所で公表する(閲覧期間は1週間)。

11 異議の申立

見積参加者は、見積書提出後、オープンカウンタ公告、この心得書、業務内容、仕様書、契約書案等についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。